第４号　令和３年　３月発行

春を感じる今日この頃。皆さまいかがお過ごしでしょうか。春の便りは、花粉症の季節ですね。やっかいな事に、花粉症は、かぜやコロナウイルス感染症などの初期症状と似通っているといいます。「花粉症です」のスタンプ、あるいはそのような物を、マスクにあつらえると、周知する有効なアイデアになると、先日テレビで紹介されていました。症状が気になる方は、参考になさってみてはいかがでしょうか。

今年の １ 月１６日、１７日に、全国病児研究大会がＷＥＢ開催され院長先生はじめ、看護師、保育士で参加させて頂きました。今年も小児医療や、心理学などの最新情報はもとより、多くの学びを得ることが出来ました。保護者の皆さま、そしてお預かりしたお子さま方が、安心して病児保育を利用して頂けるよう学びを生かした、ていねいな保育を、心がけていきたいと思います。

★☆ある日の病児室★☆

初めての利用の２歳の男の子が、感冒の診断でドリームにやってきました。しばらくは、保育士に抱っこされながら過ごしていましたが、お昼近くになると満面の笑みでお友だちと遊ぶようになりました。その様子をお写真におさめ、迎えのママにお見せすると「安心しました」とおっしゃって頂き、お子さん、ママ、保育士、看護師、みんなが笑顔になったひと時でした。

☆★小児科Ｄｒ．宮本の連載コラム☆★

ヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチンについて

ヒトパピローマウイルス（HPV）は皮膚や粘膜に感染するウイルスで、１００以上の種類があります。子宮頸がん以外にも中咽頭がん、肛門がん、膣がん、外陰がん、陰茎がんなどにも関わっていると考えられています。HPV ワクチンを接種すると子宮頸がんになるリスクが５割低下することを２０２０年 10 月、スウェーデンの研究チームが発表しています。また、接種後に重い症状が報告されていましたが、２０１５年におこなわれた名古屋市の約３万人のアンケート調査では、24 種類の「多様な症状」の頻度が、ＨＰＶワクチンを接種した女子と接種しなかった女子で有意な差がありませんでした。

現在もＨＰＶワクチンは定期接種であるため、対象者（小学６年生～高校１年生の女子）は無料で接種できます。当院では接種をお勧めしていますが、年に数人の接種しかありません。

今回、ＨＰＶワクチンについてまず、知って頂けたら幸いです。

＊ちびっこぷれす　２０２１年１月号より引用

☆彡☆彡☆彡☆彡☆彡☆彡☆彡☆彡☆彡☆彡☆彡☆彡☆彡☆彡☆彡☆彡☆彡☆彡☆

げんきキッズクリニック
げんきゆめほいくえん

病児保育室　ドリーム
山梨県中巨摩郡昭和町河東中島７４８－１
TEL:055-268-5578　FAX:055-268-5598
http://genkikids-clinic.com/
ホームページより各種用紙（登録申込書・利用申込書・連絡票）がダウンロードできます